



長崎市議会議員 平野 剛 市政報告

平成26年
第2号

〒852-8114
長崎市橋口町6-8-208
TEL 095-829-1403

謹啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、『平野剛 市政報告 第2号』を作成致しましたので、ご一読頂ければ幸いです。
今回は、6月議会、一般質問の内容を主にご報告致します。

今後とも何卒、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。
皆様方におかれましては、くれぐれもお体にはご自愛下さいませ。

謹白

平野剛プロフィール

1969年長崎市生まれ
1976年私立信愛幼稚園 卒園
1982年長崎市立山里小学校 卒業
1985年長崎市立山里中学校 卒業
1988年長崎県立長崎北高校 卒業
1992年長崎大学 経済学部 卒業
1992年野村證券株式会社 入社
　　高槻支店～本店営業部
2010年長崎へ帰郷
2011年長崎市議会議員 初当選

【その他の役職】

2013年5月～
山里小学校PTA副会長

2013年5月～
山里地区青少年育成協議会副会長

2013年5月～
山里地区子どもを守るネットワーク副会長



【一般質問】 市政への政策提言

平成26年6月定例会

こんな一般質問をしました！

1 子ども・子育て行政について

- (1) 子ども・子育て支援新制度
- (2) 育児サポート事業

2 新たな公会計システム(複式簿記)の導入について

- (1) 現在の考え方
- (2) 現在の公会計から見た大型事業

3 銅座川プロムナード及び周辺の整備について

6月議会において、上記内容にて一般質問を致しました。

以下、質問趣旨と長崎市の回答及び成果です。

1 – (1) 子ども・子育て支援新制度について

国全体において約2兆円程度でまかなってきた『子育て支援策』に対して、消費増税分を財源として、年間700億円を追加的に投じるとともに、制度そのものも抜本的に平成27年4月より変わろうとしています。

その中の大きな特徴の1つが、市町村が地域のニーズに基づき、実施主体となることとなっています。

これは言い方を変えると、市町村で我が町の特徴を出しやすいのは、『子ども・子育て支援事業』とも捉える事ができます。

また逆に、市町村の裁量である為、市町村間で格差が生じ、それを懸念する声も聞こえています。

そこで新制度実施に向けて、どのように拡充しながら、『長崎らしさ』を出そうとされているのか、「保育園」、「幼稚園」、「認定こども園」、「放課後児童クラブ」において見解を求めるとともに、各業界の懸念の声を提言致しました。

その後も、各業界の方々と行政側との間に入り、ニーズの把握に努めながら、種々要望を提案しております。

1 – (2) 育児サポート事業について

今般、2040年には、20～30代の女性が896自治体で半減し、自治体が消滅する可能性があるとの衝撃的な報告がなされました。

(長崎市の減少率は48.8%で、ほぼ半減。)

その対策の1つに、『子育てしやすい環境作り』への取り組みが提言されています。

長崎市においても、少子化・人口減少の課題解決への取り組みは急務であります。

『より子育てしやすい環境の実現』に向け、新たな取り組みや、考えを質すとともに、
「何もない場合、極めて困難な未来が待ち受けている。」

という重大な危機意識を持ち、これまでと発想を真剣に変えて頂き、社会保障予算を大胆に子育て世代に移し、見直す考えはないか提言いたしました。

その後、全国知事会において、

「国家の基盤を危うくする重大な岐路」「日本は死に至る病にかかっている」

との危機感を強調した上で、『少子化非常事態宣言』をまとめております。

国に対し十分な予算配分を促し、思い切った政策を展開するよう求めておりますので、国の動きも注視しながら、今後も大胆な施策の執行を提言していきたいと思います。

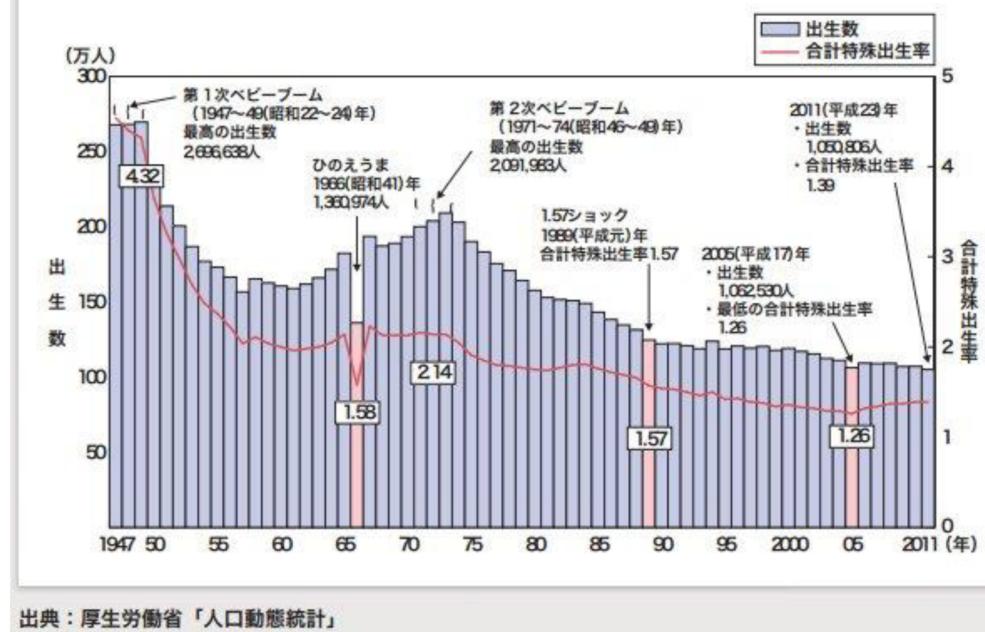
少子化非常事態宣言とは

全国知事会は7月15日、佐賀県唐津市で開いた会議で「少子化非常事態宣言」を採択することを決めた。人口減少による地域経済の危機に対応し、国と地方が連携して早急に少子化対策の総合計画を作るよう訴える。地域の実情に応じた就労や結婚の支援、高齢者から若年世代への資産移転を促す税財政制度の創設も提言した。

宣言は少子化対策を「国家的課題」と位置づけ「国と地方が総力を挙げて抜本強化」すると明記する。

山田啓二会長（京都府知事）は人口減について「都市対地方の問題ではなく、日本全体の問題だ」と力説。

少子化対策を担当する高知県の尾崎正直知事は「いま取り組めば間に合う」と呼びかけた。



2-(1) 新たな公会計システム(複式簿記)の導入について

平成24年9月議会の一般質問でも、同趣旨の提言を致しましたが、私の中では市政に対する提言の中でも最重要事項でもありますので、引き続き再度提言しました。

行政の会計制度である官庁会計では、明治以来『単式簿記』による処理がなされております。これは現金の支出を伴わない減価償却費等を含め、フルコスト情報の把握が困難な上、事業別のコストや、施設別のコストの把握も難しいシステムとなっております。

私達議会人が行政をチェックする上でも、市民の皆様への説明そして理解を頂く上においても、見えにくい根本に、この会計制度があると思っているところです。

またこの事が、職員のコスト意識が希薄になっている元凶だとも思っています。

そこで、一般的に企業会計に用いられる『複式簿記』への移行を提言しているところです。

これまで二年間に渡り提言し続けた過程で、システム導入のコストと、職員への事務的負担、そして他都市との比較をする上で独自の会計システムを用いる事への弊害等で、なかなか理解は示してはもらっても、早期の導入は難色を示していましたが、ここにきて国の方から、来年度から平成29年の3年間に、複式簿記の導入を前提とした統一的な基準による財務書類の作成の要請がなされ、そのシステム導入の費用負担もなされる見通しとなり、長崎市においても実現される事となりました。国の大いなる理解と前進を嬉しく思う次第です。

大型事業が目白押しに予定されている本市において、わかりやすい財務書類は早期に必要であります。

早期に実現されるよう、その準備に取り掛かる事を重ねて要請したところです。

2-(2) 現在の公会計からみた大型事業

現在の単式簿記による会計システムの問題点を、長崎市の目玉事業であるMICE施設建設を例に挙げ、浮き彫りにしてみました。

※MICE施設とは、

Meeting～(会議・研修・セミナー)

Incentive tour～(研修・報奨旅行)

Convention～(学会・国際会議・大会)

Exhibition～(展示会・見本市・イベント)

の頭文字をとった名称で、

多くの集客交流ができる施設のことをいいます。



現在長崎市では、長崎駅西側(浦上川沿い)の土地を購入し、建設しようと計画を進めています。

(M I C E建設)

長崎市によると、

『当初民設民営での建設から検討したが、赤字となるので、公設民営での建設を検討する事としました。そして、公設民営での収支は2700万円の黒字になります。』
と説明しておりました。

民設民営→ 赤字

公設民営→ 2700万円の黒字

どういう事がおわかりになりますか？
そしてどちらが本当なのでしょう？

実は、どちらも本当なのです。
会計システムの違いです。



土地取得費・建設費・借入金の金利・職員派遣の人物費・等々の建設に係るコスト、すなわち公設部分は別勘定にして全て抜き出し、運営部分のみの収支をもって黒字と説明しています。

民間で用いている会計(複式簿記)であれば、黒字というと初期投資分を減価償却で落としながら、それを上回る時を黒字といいます。

よって一般的に黒字と説明されると、そのような認識をなされるかと思います。

市民に間違った認識を与えるような説明と、議会のチェックの妨げになる根本に、この会計制度があるという実例の一つです。

このM I C Eに関しては、民間で言うフルコストで示した場合、一体いくらの収支になるのか質したところ、**年間3億4000万円の赤字**になるとの事実を引き出せました。

しかしながらこの試算も、今後見込まれる土壌汚染除去費や液状化対策費、そして高騰する建設費や、土地の値上がり分等、まだまだ真のフルコストの試算とはなっておりません。

このような事が他の施設や事業においても、本当のところのコストが表に出てないものが多数見受けられます。

今後M I C Eをはじめ、あらゆる所において、『フルコスト』を追求しながら表に出し、その是非を議論していきたいと思います。

～新聞記事に掲載されました～

6月12日 長崎新聞より

平野議員の質問に武田敏明企画財政部長が答えた。平野議員は「現在の説明が運営にかかる収支のみであることは、ほとんどの市民は知らない」と述べ、公費の負担や収支の試算に関する市民への説明が不十分と指摘した。市は当初、民設民営方式

定例長崎市議会は11日、一般質問が始まり、井上重久議員（市民ク）、平野剛議員（明政ク）、岩永敏博議員（自民）、永尾春文議員（公明）が登壇。市は公設民営でJR長崎駅西側に計画しているコンベンション施設（MICE施設）について、用地取得費や建設費などが盛り込まれる民設民営方式で試算した場合、収支は年間3億4千万円程度の赤字になるという結果を明らかにした。

平野議員の質問に武田敏明企画財政部長が答えた。平野議員は「現在の説明が運営にかかる収支のみであることは、ほとんどの市民は知らない」と述べ、公費の負担や収支の試算に関する市民への説明が不十分と指摘した。市は当初、民設民営方式

に関する収入と支出をもとに、年間約2700万円の黒字と説明している。市財政課は取材に対し、「（経済効果を見込める）公の施設として整備するので、コスト削減を意識しながらも一定の公費負担に理解を求めたい」としている。

（原口司）

公費負担なければ赤字

MICE市試算 年3億4000万円

議員指摘 市の説明不十分

市議会一般質問

3 銅座川プロムナード及び周辺の整備について

現在、戦後の復興事業の一環として暗渠になった銅座川の暗渠を撤去し、プロムナードを整備する計画が持ち上がっております。

この地域一帯は、戦後から高度経済成長期を経て現在に至るまで、一貫して長崎の発展を支え、長崎人の想いが風景とともに詰まった大切な思い出の場所であり、この地域の街づくりに当たっては、このような想いなども含めた魅力づくりにより、新たな時代につないでいく責務があると考えています。

また、単に川に戻すだけでなく、銅座川プロムナードそのものが人を集め、賑わいと安らぎをかもしだし、長崎にまた『長崎らしい』新たな魅力が生まれる工夫をしてもらいたいと要望するとともに、周辺整備も含め現在の計画を質しました。

回答では指摘・提案の通り、十分に配慮した上で、長崎の新たな魅力になるくらいの整備を行いたい旨の答弁でしたので、街の賑いや水辺の文化を、安全性や清潔感の中に、伝統と華やぎを見事に実現している京都市の繁華街「木屋町通り」を流れる川を引き合いに出し、是非参考にして頂くよう重ねてお願いした次第です。



銅座川プロムナードとは？

プロムナード（Promenade）とは、フランス語で「散歩」あるいは「散歩の場所」（散歩道・遊歩道）を意味する語。ここから転じて、様々な分野において異なる意味で用いられている。

長崎市の「銅座川プロムナード」計画としては、まちなかを活性化させる拠点の一つとして、地元住民などと共に銅座地区のまちづくりの検討を進めて行くことが掲げられており、春雨通りから銅座橋間の道路幅員は、車道を幅員5.0mの1車線（春雨通り側への一方通行）とし、歩道に朝市、夜市やオープンカフェなどのイベントができる空間を確保する。以上の要件を満たすため道路幅員を15mとする。などの計画がなされている。



京都市の繁華街「木屋町通り」を流れる高瀬川

各種媒体で情報をお伝えしています

いずれも「平野剛」の検索で表示されます。長崎や市政に関する情報を配信しておりますので是非ご参照ください。

平野剛 公式ホームページ

<http://hirano-tsuyoshi.net>

長崎市議会議員 平野剛
HIRANO TSUYOSHI OFFICIAL HOMEPAGE

プロフィール 行政観察 政策調査活動 市民からの要望事 市政一般質問 その他の活動

トピックス TOPICS

ブログ Facebook Gallery

新着情報 (1件)

2014.08.12 【その他の活動】更新致しました。

2014.08.12 【行政観察】更新致しました。

2014.06.27 ブログを更新致しました。「一般質問を終えて(3)…現在の公会計から見た大変節約。(eMICE)」

2014.06.27 ブログを更新致しました。「一般質問を終えて(2)…新たな公会計(会式簿記)の導入について」

インフォメーション (1件)

2014.07.31 「建設小委員会(復興復興)」に参加致しました。

2014.07.18 「世界農業遺産特別委員会(会式簿記)」に参加致しました。

2014.07.02-07.04 「会議・長崎市行政推進」に参加致しました。

2014.06.30-07.01 「建設小委員会(復興)」に参加致しました。

お問い合わせはこちら
TEL 095-829-1403 FAX 095-820-8044 長崎市役所内議員控室

Copyright © Tsuyoshi Hirano All Rights Reserved.

平野剛 オフィシャルブログ



<http://ameblo.jp/hirano-tsuyoshi/>



平野剛 オフィシャルブログ

HIRANO TSUYOSHI OFFICIAL BLOG

平野剛 オフィシャルブログ

2014年08月12日 (木) 18時00分00秒
平野剛のブログ

日々想うことや、長崎市にかかる情報を随時更新しております。
市議会議員の立場、長崎市民としての立場、子を持つ親としての立場さまざまな視点から記事を書いていきますので、ご一読いただければ幸いです。

建設小委員会(復興復興)に参加致しました。

世界農業遺産特別委員会(会式簿記)に参加致しました。

会議・長崎市行政推進に参加致しました。

建設小委員会(復興)に参加致しました。

お問い合わせはこちら
TEL 095-829-1403 FAX 095-820-8044 長崎市役所内議員控室

平野剛 facebook



<https://www.facebook.com/tsuyoshi.hirano.92>

平野剛

平野剛のFacebookページ

ホーム 29+

タイムライン 基本データ 写真 友達 共通の友達 174人 その他

平野剛 昨日 18:45

日々想うことや、長崎市にかかる情報を随時更新しております。
市議会議員の立場、長崎市民としての立場、子を持つ親としての立場さまざまな視点から記事を書いていきますので、ご一読いただければ幸いです。

写真 25

今後とも長崎の皆様のお役にたてるよう日々活動してまいります。

お住まいの地域や長崎市行政についてのご質問やご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

〒850-8685
長崎市桜町 2-35
長崎市議会控室

TEL 095-829-1403
FAX 095-820-8043